

NPO 宮島ネットワーク
令和 3 年（2021 年）9 月例会（令和 3 年度・第 2 回）議事録

日時 令和 3 年 9 月 0 7 日（火）午後 2 時～3 時 3 0 分

場所 ほてる 2 階喫茶室（緊急事態宣言中でいつもの会場が閉鎖のため変更）

出席者 12 名

挨拶 理事長 コロナ禍の収束が見えないまま、宮島に来る人も 8 割減となっている。
厳しい中でできることをやって行く。

議題

1) 2021 年度エフピコ環境基金清掃事業について

ア) 海路海岸清掃 8/23(月)の結果 配布資料：回収ゴミ量のデータ

- ・ 11 人参加。
- ・ 船で青海苔浦海岸へ移動、ゴミを回収・搬出。総量 2 2 袋、51.3kg。
- ・ ペットボトルが多かった。ほとんど蓋付き。7 袋、重量換算で約 9 5 本。
- ・ ゴミが溜まる場所に流木や枯枝とプラゴミが重なって層になっていた。足元を掘り返すようになるので、除去は簡単ではない。
- ・ 搬出できなかったカキ用フロート 2 個＝黒カバー付き、カバー無し各 1 個、各約 6kg。

イ) 10/02(土)腰細浦海岸清掃の準備について

- ・ 広島県が 9/12(日)まで緊急事態宣言となったため、9/18(土)から 10/02 に変更。
- ・ 2 週間位前から参加者を HP で募集、それまでに協力団体などを期限を切って確認。
- ・ 40 人募集、スタッフとも 60 人以下。分担して腰細浦まで搬送。搬送をお願いできるスタッフは、今後の連絡で調整。腰細浦までの道に慣れていることが条件。
- ・ 前回、広島から 10 人定員レンタカーを借りて車輛保険とも 3 万円余、運転手謝礼も含めて 4 万円余だった。今後も活用したい。ただ今は運転できるのが 1 人だけ。ホテルまことからマイクロ 1 台だせる。2 台でも可能。
- ・ チラシ・ポスターを作成。早い方が良いが、協力団体の確定後になる。

ウ) 小片プラスチックゴミ回収方法の開発について：前回と同じ資料

- ・ 手でつかめない程ボロボロになったプラスチック小片、草や枯枝に混ざる小片を回収する用具や機器の開発を依頼する。
- ・ 助成金の利用を申請中。まだ返事はない。契約の関連条項の検討。大学などは著作権にこだわるかも。
- ・ 委託先は高校や大学など教育機関。問い合わせ先と分担。見つからない場合は、問

い合せ先を拡大する。

- ・開発に個人で参加したい人がいる。

2) アサリ浜の育成について

- ・昨日も行ってみた。川水の分離はうまくいっている。
- ・稚貝が部分的に育っている。必要があれば少ないところへバラまく。
- ・大学生が計画していたアサリ浜での活動はコロナ禍で中止。
- ・毎年11月に漁協へ浜の使用料を払う。

3) さくら・もみじの会の活動について

- ・10/21(木)紅葉谷の清掃を予定、パークボランティアと協同行う。

4) おもてなしトイレ2階でのNPOのモミジ樹保全活動展示について

- ・宮島観光協会の展示：10/05(火)～12/12(日) 「大鳥居展」を民俗資料館と両方で行う。
- ・NPOの展示：11/06(土)～12/05(日)で、展示レイアウト案を提示した所、観光協会の展示にNPOの展示もする了解が得られた。
- ・展示レイアウトは昨年通りの場所で、横180cmボード3枚。
- ・設営11/05(金)午後、月例会のあと。
撤収12/06(月)午前となる。
- ・この日程で廿日市市に申請手続きして準備する。
- ・展示写真の準備、展示ボードの借り出し、挨拶文の分担、経費を確認。

5) 新規清掃場所・室浜の検討

- ・広大植物研究所内の室浜の清掃と、所内見学か講義。宮島の植物について。
所内見学か講義：宮島の植物について。小学低学年の子どももいるのでそれに対応した内容で。めったに行かない場所なので見学をしたい。清掃を先にしてあと。
- ・行きは車、帰りは歩きでも可能。タクシーを呼んでもよい。
- ・10/30(土)か10/31(日)で研究所に打診する。

6) 新しい助成事業の事業案

ア) 美浜写真コンテストの提案

- ・美しい宮島の浜の写真のコンテスト。コンテストをすれば人が来る。
- ・清掃前後でのビフォー・アフターの組み写真？ →清掃作業とは別。→ゴミの無い方向を写す、逆光利用でゴミを写さないなど、テクニックで美浜に見えるのではないか？
- ・入賞写真の選定や評価の基準は？ 清掃とは関係づけられないのでは？ →カメラマンは写真のためにゴミを除く。

イ) 子どものポスター・標語の募集

- ・大野町で行ったポスターの例を紹介
入賞者には図書券。入賞作品をラミネート加工して掲示。

ウ) 来年度（4月以降）の事業として考える。

小片プラスチックゴミ回収機器の委託事業が認められれば、今年度（3月末まで）の予算はほぼ一杯になる。認められず予算が余りそうなら再検討の余地はある。

7) 倒木の処理

- ・台風などで倒れた木が何年も放置状態。大雨などで流れ出せば災害を大きくする。国有林には手を出せない。神社域は、神社の管轄。それ以外の部分にもある。
- ・学校の近くで倒木を短く切り分けていた。どこが行っているか？
- ・宮島町が潤沢だった時代は、毎年、町が島外へ搬出して処理していた。今は金がなくて放置されている。→処分方法は搬出だけか？ 島内で燃やすと宮島が火事と誤解される。すべて搬出処分が原則。

8) きれいな場所・清掃の仕方への疑問

- ・珍しい蘭が生えていた木の枝がごっそり伐られていた。この辺りでは宮島にしかない蘭が、観察しやすい高さにあったのに。
- ・近くの人が掃除している有ノ浦の浜の清掃で、枯枝や海藻なども取ってしまう人がいる。海藻の下にいる虫がカニや稚魚の餌になっている。それを取ると浜の多様性が失われる。自然に還らないプラゴミだけを取除くべき。
- ・見た目の美しさだけで清掃をする弊害を伝えていくしかないか？